



日本電装株式会社
NIPPONDENSO CO.,LTD.

〒448 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 TEL(0566)22-3311代
1-1 Showa-cho, Kariya, Aichi Pref. 448, Japan

「デンソー・トヨタ88C」 ル・マン24時間に挑戦

日本電装株式会社



日本電装株式会社(本社 愛知県刈谷市 社長 田中太郎)は、89年6月10・11日、フランスで開催される「ル・マン24時間耐久レース'89」に出場するトヨタチームトムスのスポンサーを行います。これは、日本電装(株)としては87年度に続き2度目となります。

トヨタチームトムスはこの「ル・マン」に、85年より本格的に挑戦を始めました。その結果、昨年は日本車中最上位の12位を得るなど着々と成果を上げています。

出場マシンは「デンソー・トヨタ88C」で、ドライバーには星野薫選手と鈴木恵一選手とディディエール・アルツエ選手(フランス)を予定しています。

「デンソー・トヨタ88C」は「白」と日本電装のコーポレートカラーである「赤」でカラーリングされたマシンで、信頼性と実績のある直列4気筒ツインカムターボエンジンを搭載し、本年度も上位の成績を目指しています。

ドライバー略歴

星野 薫

1947年9月生 41歳 国籍:日本

1967年、モータースポーツ界にデビューし、ツーリングカーを中心に活躍。特にトヨタ車をドライブして、78年と84年の2回富士マイナーツーリングカーチャンピオンを獲得した。

トムスとは、82年以来の契約。85年には、ル・マン24時間レースにトヨタトムス85C-Lにて出場。日本人初の完走、総合12位となった。また、この年全日本ツーリングカー選手権レースにトランピオチームより出場し、総合優勝。88年ル・マン24時間レースでは、総合12位に入賞している。

鈴木 恵一

1949年3月生 40歳 国籍:日本

1968年、ツーリングカーレースを始め、カローラで活躍。75、76年は、スターレットにて富士GCチャンピオンとなる。84年からは、グループCカーで活躍。85年全日本耐久選手権第2戦富士1,000km、86年同第6戦富士500kmで優勝を果している。

88年トヨタチームトムス入り、トヨタ88CVの開発ドライバーとして活躍すると共に、JSPC、JTCに参戦している。

ディディエール・アルツエ (Didier Artzet)

1963年2月生 27歳 国籍:フランス

1984年、プジョーレースで優勝(9戦4勝)。85年もプジョー505で活躍し、フランス選手権でシリーズ優勝。また、F3に参戦開始。86年には、フォーミュラノーターで初優勝。87年はフランス選手権シリーズ7位。モナコGP(F3)優勝。ラップレコードをたたきだすなど活躍。

88年はF3フランス選手権でポールポジションを3回獲得している。



日本電装株式会社

会社概要

1989年4月1日現在

設立	1949年12月16日
本社所在地	〒448 愛知県刈谷市昭和町1-1
資本金(1989年3月1日現在)	413億円
売上高	1兆1,157億円
経常利益	891億円
従業員数	38,700名
国内工場数	製作所6・工場3
国内事務所・営業所数	21
海外法人数	25
海外駐在員事務所数	8

平成元年5月

**第57回ルマン24時間レースに
トヨタチームトムスよりトヨタ89C-V2台
及びトヨタ88C1台が出場**

トヨタ自動車㈱は、トヨタチームトムス（TTT）を支援し、6月10日、11日にフランス・ルマン市において開催される「第57回ルマン24時間レース」に、トヨタ89C-V2台とトヨタ88C1台の合計3台を出場させる。今回は'85年に初挑戦して以来、連続5回目の参加となる。

トヨタ89C-Vは、多岐にわたる大幅なボディ変更とエンジン系の軽量化及び燃費の向上のための改良を行った新開発のマシンで全日本スポーツプロトタイプカー耐久選手権（JSPC）、WSPCの各初戦では共にポールポジションを獲得し、その圧倒的速さは実証済みである。

ルマン24時間レースは古い歴史をもつ長時間耐久レースとして、孤高の地位を誇っており、TTTとしては'85年及び'88年ともに総合12位という好成績を残している。

本年は初の3台体制で臨み、ドライバーもおなじみのジェフ・リース、小河等、パオロ・バリラに新規参入のジョニー・ダンフリース、ジョン・ワトソン等を加わえた強力なチーム編成で、従来にも増した好成績が期待される。

なお、今回出場の3台のスポンサーは、2台のトヨタ89C-Vがタカキュー及びミノルタカメラで、1台のトヨタ88Cは、新規に日本電装となる。

以上

お問い合わせ先：第2東京広報課 中井・渡辺・村上 ☎ 03-817-9128

ルマン24時間レース トヨタイベントのご案内

項目	時期・場所	内容
プレスレセプション	6月8日(木) 15:00~16:30 於: サーキット内ホール 「プチ・ウェルカム」	<ul style="list-style-type: none"> トヨタチームトムスのご紹介を含めた懇談会です。 軽食、お飲物も用意しておりますのでご来場下さい。
プレス・サービス ブースの開設	6月7日(水) ↓ 6月11日(日) 於: パドック内 チームテント横	<ul style="list-style-type: none"> 次のサービスを行っておりますので、お立ち寄り下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ① TVモニター、ピットレポート、取材受付、などによるレース・チーム情報をご提供します。 ＊ ② <u>最新の電送写真システム</u>、ファクシミリ、電話、コピー機がご利用いただけます。 （*当システムは、日本向けのみ。 　　カラー、モノクロ写真が 　　送れます。） ③ 食事、飲物のご用意もしております。
ピット上ラウンジ の開設	6月7日(水) ↓ 6月11日(日) 於: チームピット上の ラウンジ	<ul style="list-style-type: none"> TVモニターの設置、飲物のご用意をしておりますので、ご利用下さい。

株トムス、トヨタチームトムス概要

株トムスは1974年、元トヨタワークスドライバー館信秀が、同じくワークスドライバー大岩湛矣らと設立したトヨタ車のチューニングショップである。主にエンジンを中心としたツーリングカーのチューンアップやレーシングパーツの開発、販売を行なって着実な発展を続けてきている。

また、会社設立とともに、トヨタ自動車のバックアップのもとにレース活動を開始し、国内外の数多くのレースに参加し、優秀な成績をあげている。特にマカオGP、マレーシアGPなど東南アジアでの活躍は目覚ましく、今日のトムスの地位を確固たるものにした。

80年には、株童夢との初プロジェクトとして、童夢セリカターボを共同製作、グループCによる耐久レースに参加、セブリング12時間レース、リバーサイド6時間レースに出場した。

その後、82年よりトヨタ製レース用エンジンを搭載したグループCレーシングカーの開発を開始し、株童夢との協力体制のもとに、トヨタ童夢セリカC(82年)、トヨタトムス83C(83年)、同84C(84年)、同85C(85年)、同86C(86年)、トヨタ87C(87年)、同88C(88年)と、毎シーズン製作している。

87年に、トヨタ自動車株のワークスチームとして「トヨタチームトムス」を結成、国内耐久レースで2勝を挙げるなど、その実力を示した。

88年は、熟成を重ねた3S-GT(改)エンジンを搭載したトヨタ88Cをもってルマン24時間レースに出場し、日本車最長距離4750Kmを記録し、総合12位となった。

本年度は、トヨタ88C-Vに改良を行ったトヨタ89C-Vとトヨタ88Cで同レースに挑戦する。

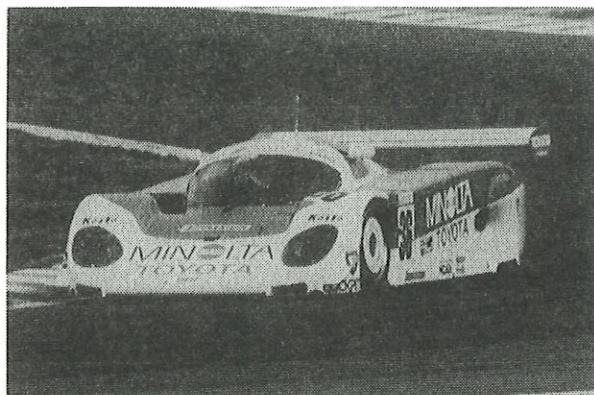


館 信秀 (1947年生)

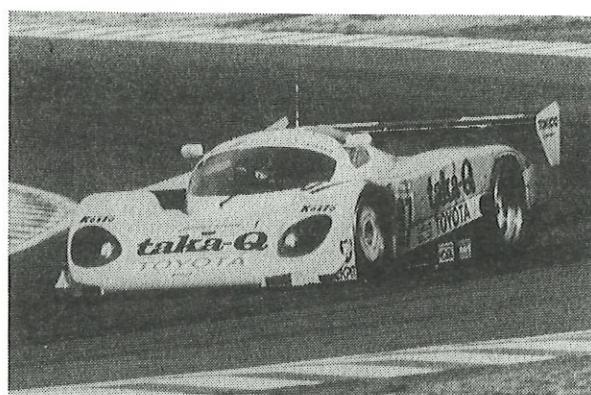
1965年にトヨタパブリカでデビューし、70年よりトヨタ専属ドライバーとして活躍。74年株トムスを設立し、トヨタ車チューナーとして成功。現在、トヨタチームトムスのチーム代表として優れた能力を発揮している。

(株)トムス、トヨタチームトムス ルマンへの挑戦

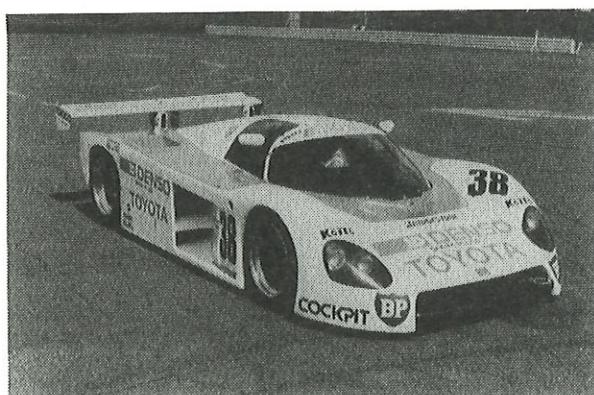
- ’80年 童夢との共同開発のセリカターボでルマンを試走、本戦には不出場。
- ’85年 国内耐久レースで活躍しているトヨタ製レース用エンジン4T-GT
(改)搭載のニューマシン、トヨタトムス85C-Lで、ルマン24時間レースに初挑戦。並みいる強豪チームを相手に健闘し、完走総合12位という素晴らしい成績を収めた。
これは、日本人ドライバーのみによる純日本製Cカーでは、最高の成績であった。
- ’86年 前年出場したトヨタトムス85C-Lを童夢と共に改良、トヨタトムス86C-Lで再びルマン24時間レースに挑戦したが、惜しくもリタイアした。
- ’87年 トヨタ自動車(株)と協力し、トヨタチームトムスを結成。トヨタ製レース用エンジン3S-GT (改)搭載のトヨタ87C、2台をもってルマンに挑戦したが、惜しくもリタイアした。
- ’88年 トヨタ87Cの熟成・改良を重ねた、トヨタ88Cの2台体制で臨み
1台は日本車としては最高位の総合12位でゴール。もう1台も24位と完走した。
- ’89年 昨年デビューしたトヨタ88C-Vを大幅に改良したトヨタ89C-V2台と、昨年のルマンで実績のあるトヨタ88C1台をもって挑戦、上位入賞を狙う。



ミノルタトヨタ89C-V



タカキュートヨタ89C-V



デンソートヨタ88C

トヨタチームトムス参加体制・スタッフ

	No. 36	No. 37	No. 38
参加車両	ミノルタトヨタ 89C-V	タカキュートヨタ 89C-V	デンソートヨタ 88C
ドライバー	小河 等 パオロ・バリラ ロス・チーバー	ジョニー・ダンフリース ジェフ・リース ジョン・ワトソン	星野 薫 鈴木 恵一 ディディエール・アルツェ
チーム代表	館 信秀		←
総監督	—		グレン・ウォータース
監督	鮎子田 寛		デイブ・シムス
チーフエンジニア	大岩 澄矣		アンドリュー・ソーベー
シャシ・チーフ エンジニア	今西 豊		—
チーフメカニック	渡辺 武彦	山田 淳	リチャード・パウエル

ミノルタトヨタ 89C-V ドライバーズ・プロフィール

小河 等

1956年2月15日生 33歳 国籍 日本

1979年 FL500にて鈴鹿シルバーカップレースにデビュー。

81年には、F3に、82年には、F2にステップアップし、活躍してきた。

耐久レースには、85年、レイズレーシングからトヨタ84Cにて出場している。

86年は、グループCカーの他、全日本ツーリングカー選手権にカローラレビンに乗り、全戦出場している。

87年には、トムスよりF3(ラルトRT31トヨタ)に出場し、シリーズ2位となった。

88年は、F3000にデビュー。また、ルマン24時間レースにも初めて出場し完走した他、インターTECでは、スーパーラターボで総合2位に入賞している。

本年は、国内耐久、ツーリングカーレースにチームドライバーとして参加し、活躍中。

パオロ・バリラ (Paolo Barilla)

1961年4月20日生 28歳 国籍 イタリア

1975年 レーシングカートに参加。翌76年にはイタリア レーシングカートチャンピオンとなつた。

81年からは、F3にステップアップし、イタリア選手権に参加。2勝をあげた。

82年には、F2のヨーロッパ選手権に参戦。83年からは、ランチャームに参加し、世界スポーツプロトタイプカー選手権に出場。84年には、同チームで好成績をあげた。

85年は、ヨーストチームに参加。ルマン24時間レースで優勝した他、米国のIMSA-GTPシリーズで活躍。87年は、F3000に出場し、ヨーロッパを転戦。

88年より、トヨタチームトムスに参加。全日本スポーツプロトタイプカー選手権にて活躍。ルマン24時間レースでも完走を果たした。

本年もトヨタチームトムスより、国内耐久、ツーリングカーレースに参戦しており、WSPC第1戦鈴鹿300マイルレースでは6位に入賞するなど活躍中。

ロス・チーバー (Ross Cheever)

1964年4月12日生 25歳 国籍 アメリカ

1982年 18歳で FF1600にフォーミュラフォードでレースデビュー。
その年の11月に優勝。

83年には、イギリス国内のフォーミュラフォードで9回優勝。84年よりラルトトヨタでF3チャンピオンシップに参加。サンブル、ブランド、スパの3レースで優勝。

85年は、ニュージーランド アトランティックチャンピオンシップの2レースに参加し、両レースとも優勝。また、アメリカでのスポーツルノーの3レースにも参加。オハイオの24時間レースでポルシェ944 ターボをドライブし、予選1位となる。

87年、童夢レーシングチームより、F3000、グループCの全日本全戦に参加。
グループCの富士500マイルレースで「ワコールトヨタ童夢87C」をドライブし、

3位入賞を果たす。また、F3選手権にも参加し、87年全日本F3チャンピオンに輝く。

88年、童夢より全日本F3000シリーズに全戦参加。菅生でのインターF3000選手権で予選1位を奪うなど、その活躍は、大いに注目を集めた。

本年は、トヨタチームトムスより、トヨタ89C-Vにて、ルマン24時間レースに挑戦する他、年後半よりJSPCにも出場する予定。

タカキュー・トヨタ89C-V ドライバーズ・プロフィール

ジョニー・ダンフリース (Johnny Dumfries)
1958年4月26日生 31歳 国籍 スコットランド

非常にやくステップアップした、数少ないレーシングドライバー。
80年、100ccカートレースを始める。
83年F3に昇進し、84年には英国F3 & FIAヨーロピアンF3チャンピオンシップで
15勝をあげる。
86年には、F1にロータスでフルシーズン出場。
87年、WSPCのレースを始め、メルセデス、ポルシェ、ジャガーを操り、レースにおける
彼の見事な才能を見せつける。
88年、WSPCにてジャガーと契約、USAでのIMSAレースに出場し、3位。
同年、ルマン24時間レースにて、ジャガーに31年ぶりの勝利をもたらす。
本年より、トヨタチームトムスに参加し、WSPC全戦に参戦している。
トヨタ89C-Vに乗るのは、ルマン24時間レースが2度目ということで活躍が期待される。

ジエフ・リース (Geoff Lees)
1951年5月1日生 38歳 国籍 イギリス

1972年、20歳の時よりフォーミュラ・フォードに乗りレーシング・ドライバーの
道を歩み始めた。シーズン4年目の1975年には、40戦中33勝という驚異的な記録
を残して注目を集めた。

76年には、F3にステップアップした。
78年からはヨーロッパF2シリーズに参加し、アメリカのカンナム・シリーズにも
出場している。79年にはドイツGPでF1を初ドライブした。そして、80年に世界
F1グランプリ・シリーズにシャドウチーム及びセオドールチームのドライバーとして
参戦。
81年、再びヨーロッパF2選手権シリーズにラルト・ワーカス・チームより参戦し、
活躍。その年のヨーロッパF2チャンピオンの座に着いた。
82年はF1シリーズに戻り、セオドールチーム及びロータスチームのドライバー
として参加。また、ルマン24時間レースにも、アストン・マーチで初挑戦した。
83年には日本に滞在、F2シリーズで活躍、年間4勝をあげ全日本F2シリーズ
のチャンピオンを獲得した。

トムスとは、86年より契約、国内耐久レース、ルマン24時間レースで活躍し、
87年の国内F3000シリーズに参加している他、全日本スポーツプロトタイプ
カー耐久選手権では、トヨタチームトムスのドライバーとして出場した“富士1000
Kmレース”“鈴鹿1000Kmレース”において優勝を飾っている。

88年は、GCシリーズのチャンピオンとなる。また、ルマン24時間レースでは、
総合12位入賞の立役者として活躍。
本年もトヨタチームトムスより、JSPCとWSPCに参戦、各初戦でポールポジション
を獲得するなど、チームの中心ドライバーとして活躍中。

ジョン・ワトソン (John Watson)
1946年5月9日生 43歳 国籍 イギリス

1963年、17歳でオースチンヒーレー・スプライイトでデビューし、64年～69年は、
スポーツカー及びフォーミュラー・リブレでチャンピオン獲得。70年からロータスF2で
プライベート参加。ジム・クラーク、ヨッヘン・リントと戦い優秀な成績を修めた。
74年には、F1初参加。プライベート(HEXAGON BRABHN)でオーストリアGPで4位入賞。
シーズン後半のイタリアGPでは予選2位に、76年には、F1初優勝(ペンスケ・チーム)。
77年～78年は、ブラバムチームで優勝2回。79年～83年は、マクラーレンチームで
優勝2回。

また、マクラーレンの開発(自然吸入フォードDFV・TAGターボ)も担当。10年間
F1レースに参加。152戦中 5度優勝。
84年からGRP-C及びIMSA-GTP、ポルシェ・ファクトリーチーム(ルマン)、
ジャガーチーム、BMW(IMSA-GTP)で活躍。
本年は、トヨタチームトムスよりWSPCに参戦する予定で、ルマン24時間レースが
初めてのトヨタ89C-Vのドライブとなる。

デンソートヨタ 88C ドライバーズ・プロフィール

星野 真

1947年9月21日生 41歳 国籍 日本

20歳でモータースポーツ界にデビューした。ツーリングカーを中心に活躍。特にトヨタ車をドライブして、78年と84年の2回富士マイナーツーリングカーチャンピオンを獲得した。

トムスとは、82年以来の契約。貴重なドライバーとして、ツーリングカーやグループCカーで活躍しており、そのいきのいいドライビングには定評がある。

85年には、ルマン24時間レースにトヨタトムス85C-Lにて出場。日本人初の完走、総合12位となった。また、この年、全日本ツーリングカー選手権レースに、トランピオチームより出場、総合優勝を果たしている。

87年は、全日本ツーリングカー選手権を中心に活躍している。

88年、ルマン24時間レースでは、総合12位入賞。

本年度も、ルマン24時間レースにトヨタチームトムスより挑戦する。

鈴木 恵一

1949年3月21日生 40歳 国籍 日本

1968年にレースデビュー。

TMSC（トヨタモータースポーツクラブ）の若手として、ツーリングカーレースで活躍。

75年から76年と、スターレットを駆って2年連続富士GCマイナーツーリングカーチャンピオンとなる。約2年のブランクの後、F P、T. S. 耐久レースにカムバック。あらゆるマシンを乗りこなした。

85年からは、ポルシェをもって全日本耐久レース（グループC）に参戦。

86年には2勝をあげる。

88年は、トヨタチームトムスに参加、国内耐久とツーリングカーに参戦。
また、トヨタ88C-Vの開発ドライバーとして活躍した。

本年は、ニューマシン89C-Vをもって全日本スポーツプロトタイプカー選手権に参戦している他、ルマン24時間レースにも挑戦する。

ディディエール・アルゼ (Didier Artzet)

1963年2月10日生 26歳 国籍 フランス

1984年 プジョーレースで優勝（9戦4勝）。85年もプジョー505で活躍し、フランス選手権でシリーズ優勝。また、F3に参戦開始。

86年には、フォーミュラルノーターで初優勝。

87年、フランスF3選手権シリーズ7位。モナコGP(F3)優勝。
ラップレコードをたたきだすなど活躍。

88年、F3フランス選手権でポールポジション3回獲得。

本年は、トヨタチームトムスより全日本ツーリングカー選手権に参戦する他、ルマン24時間レースにも挑戦する。

トヨタ 89C-V 車両概要

〔エンジン〕

型 式	R 3 2 V
種 類	V型 8気筒 DOHC (32バルブ)
ターボチャージャー	トヨタ製 (CT26RT×2)
ボア×ストローク	82.0×75.0 mm
総排気量	3,169 cc
燃料供給方式	E F I
圧縮比	8.5 : 1
最高出力	800 ps / 8,000 rpm
最大トルク	80.0 Kg·m / 5,000 rpm

〔ボディ & シャシー〕

寸法	全高	1,015 mm
	全長	4,790 mm
	全幅	1,940 mm
	ホイールベース	2,725 mm
	トレッド前／後	1,560 / 1,540 mm
	車両重量	900 Kg 以上
	燃料タンク	98.5 ℥
	トランスミッション	88T (マチ社製)
	クラッチ	トリプルプレート
サスペンション	前	ダブルウィッシュボーン／インボードコイルスプリング
	後	"
ブレーキ	前	ロッキード 14インチ ベンチレーテッドディスク
	後	"
タイヤ&ホイール	前	320 / 30 R 17
	後	350 / 40 R 17

トヨタ 88C 車両概要

[エンジン]

型 式	トヨタ 3S-GT改
種 類	直列4気筒 DOHC (16バルブ)
ターボチャージャー	トヨタ製 (CT44ST)
ボア×ストローク	89.0 × 86.0 mm
総排気量	2,140 cc
燃料供給方式	EFI
圧縮比	7:1
最高出力	680 ps / 8,500 rpm
最大トルク	65.0 kg·m / 5,500 rpm

[ボディ & シャシー]

寸法	全高	1,040 mm
	全長	4,625 mm
	全幅	1,990 mm
	ホイールベース	2,700 mm
	トレッド前／後	1,600 / 1,575 mm
車両重量		850 Kg 以上
燃料タンク		98.5 ℥
トランスミッション		85T (マーチ社製)
クラッチ		ボーグ&ベッグ トリプルプレート
サスペンション	前	ダブルウィッシュボーン／アウトボード コイルスプリング
	後	ダブルウィッシュボーン (ロッキングアーム式) / インボード コイルスプリング
ブレーキ	前	ロッキード 14インチ ベンチレーテッドディスク
	後	"
タイヤ & ホイール	前	320 / 30R17
	後	340 / 40R19